

山形県

2013年2月号

理学療法士会

広報誌



目次

ご挨拶

山形県理学療法士会会長 高橋 俊章……………2

公益事業推進部報告
「障害予防クリニック
への参加」……………3

理学療法とは……………4

学校紹介

- ・公立大学法人
山形県立保健医療大学……………5
- ・学校法人 諏訪学園
山形医療技術専門学校……………5

施設紹介

- ・財団法人 三友堂病院……………6
- ・山形済生病院……………6
- ・東山整形外科クリニック……………7
- ・日本海総合病院
酒田医療センター……………7

山形県理学療法士会



ご挨拶

山形県理学療法士会会長
高橋 俊章

山形県理学療法士会は1972年に創立してから現在まで、多くの皆様に支えていただき、昨年で40年目を迎えることができました。長年にわたりご支援をいただいていたことにこの場を借りてお礼を申し上げます。

当会では、県民の皆様や関係団体の方々に、理学療法について正しく深く知っていただくため、広報誌の発行を行っております。

当会は、山形県の理学療法士635名が組織する専門職能団体です。理学療法を通して県民の保健・医療・介護・福祉の発展に貢献することを目的に、学術的及び公益性を重視した社会的な活動を行っています。会員の多くは病院、診療所、老人保健施設等に勤務する中、近年では訪問リハビリテーション、福祉分野への関わりが少しずつですが増加しています。また医療分野はもとより、保健（障がい予防、介護予防）、さらにはスポーツ分野のサポート等も行わせていただいております。

近年、充実した在宅医療の推進が進められています。その中で、リハビリテーションの果たす役割も重要な位置を占めていると考えています。在宅で要介護の方が増加する中で、私たち

は介護予防や寝たきりの防止、日常の生活を維持する等のさまざまな役割を持ちながら、地域や在宅でのリハビリテーションの普及向上を目指し取り組みを行っています。

理学療法では病気、障がいがあっても住み慣れた街で、自分らしく暮らしたいという一人ひとりの思いを大切にします。生活期である在宅療養の方は、自己の能力を活用し、その人らしい生活を実現する時期です。回復期からの移行において獲得された能力の維持と向上を図り、状態悪化や再発を防ぐことが重要になります。理学療法士は、在宅療養の方の能力を活かした動作や介助方法などの提案を行い、また住宅環境の調整や福祉機器の提案等を通して、暮らしやすい生活、豊かに生きるための生活のサポートを行います。

会員一同、これからも地域に根ざした活動を展開し、理学療法を通じて社会貢献できるように努力を重ねてまいります。今後とも県民の皆様はじめ関係団体の皆様のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後ではございますが、ご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

福祉機器・介護用品販売レンタル／車いすオーダー制作

a (有)アシスト

〒991-0048 山形県寒河江市みずき一丁目6-4
TEL(0237)83-5525/FAX(0237)85-5454

E-mail:assist@corp.email.ne.jp

山形県各福祉事務所指定
義肢・補装具・コルセット・車椅子一般・その他

有限会社 田中義肢装具製作所

山形市あかねヶ丘1丁目3-15(山商体育館西側)
TEL(代表)645-4600
FAX645-5424

YK

厚生労働省
山形県
福祉義肢製作所指定

有限会社 **山形義肢研究所**

—— 営業品目 —— 代表取締役 植松 茂夫
義手・義足・コルセット・補装具
補助ステッキ・松葉杖・車いす
整形医療器具 山形市飯田五丁目5番39号
電話 (023) 632-5214

思いやりリハビリ・まごころケア

(有)福祉用品やまがた

介護用品ショールーム

〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎4-2-40
電話 (0234) 26-1725
FAX (0234) 26-6780

『障害予防クリニックへの参加』

山形県理学療法士会公益事業推進部では、理学療法士が有する知識や技術を地域社会に還元し、そこに生活している様々な人々の支えになれる様な活動ができればと考えています。その一環として、スポーツ分野での支援活動を行うため昨年度より準備をすすめております。今年度は山形県高等学校野球連盟が主催する「障害予防クリニック」に、当士会としては初めて参加させていただくことができましたのでご紹介します。

この「障害予防クリニック」は、今回で4回目を数えるとのことで、11月23日に山形県スポーツ会館で行われました。当士会からは23名の理学療法士が参加しました。対象は県内の高校野球選手50人で、整形外科医師によるメディカルチェックの後、理学療法士がフィジカルチェック（各種身体機能測定）を実施、その後アスレチックトレーナーによるコンディショニング指導という流れで行われました。測定項目には整形外科スペシャルテストも含まれ、経験のないスタッフもいましたが、事前に整形外科の先生方より丁寧なご指導をいただき、スタッフ間の差も埋めることができたようです。普段は病院や各施設、または在宅にてリハビリテーションを担当している私達理学療法士は、障害がおこってしまってから回復するまでには大変な努力が必要なることを肌で感じて知っています。スポーツ選手

にとってはその後のパフォーマンス、時には選手生命さえも左右することになります。選手の皆さんや指導者の方々に、身体機能や障害について関心を持ち、正しい知識を身につけていただくことはとても重要なことです。ですから、「障害予防」の現場で仕事ができることは、私達にとっても大きな意味のあることだと思います。さらに、他施設・他職種の方々と一緒に活動ができることも、大変貴重な経験となりました。参加した士会員からも「新たな刺激となった！」との感想が聞かれました。

これからも公益事業推進部では、理学療法士としての力で地域社会へ貢献できるよう活動が続けていきたいと思っています。できるだけたくさんの方々に、我々の活動や理学療法士について興味を持ち、知っていただければ幸いです。

文責：安倍恭子

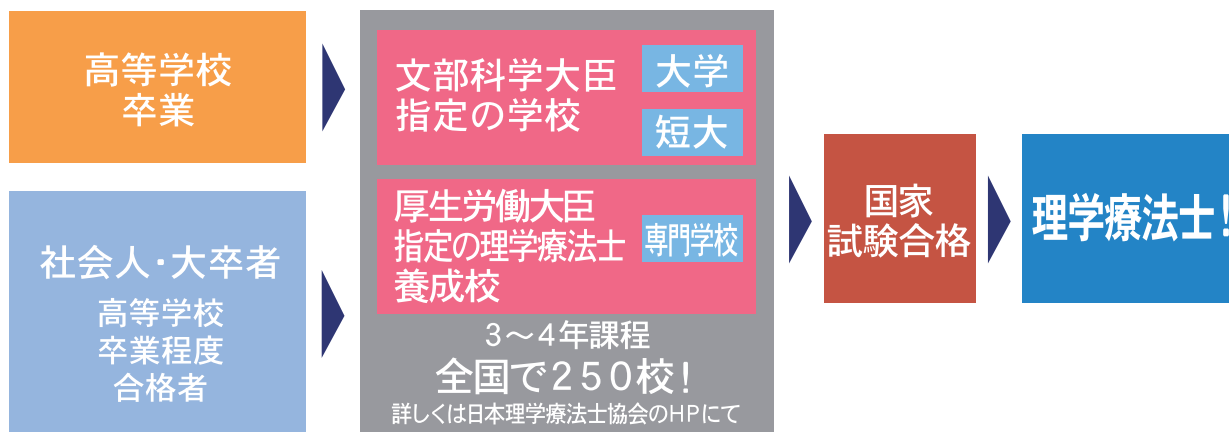


理学療法士とは

理学療法は運動療法や物理療法を用いて、失われた身体の機能を取り戻す治療法の一つです。理学療法士は、病気やケガの回復を促し、社会や日常生活に戻るまでの役割を担います。さらに、生き甲斐やその人らしさをサポートする自立支援、生活支援、健康増進、介護予防などの分野や、教育や研究などさまざまな場面でも活躍しています。

理学療法士は、**国家資格**です！

理学療法士になるためには、毎年一度実施される国家試験に合格しなければなりません。また、理学療法士国家試験の受験資格を得るためには、養成校を卒業する必要があります。



国家資格取得後のキャリアアップ

認定理学療法士

専門理学療法士

日本理学療法士協会ではさらに質の高い理学療法の提供のために、生涯学習の一環として理学療法士の国家資格を取得した後に、認定理学療法士、専門理学療法士へとさらなるキャリアアップも可能です。自らの専門性を高め、良質なサービスを提供する臨床能力を備え、理学療法の学術的発展のために研究能力を高めていくことを目的としています。

公立大学法人 山形県立保健医療大学

本学は、理学療法学科、作業療法学科、看護学科の3学科からなる保健医療学部を擁し、平成12年4月に開学致しました。平成16年4月からは、3分野（理学療法、作業療法、看護）の修士課程、保健医療学研究科を専攻する大学院を開設しております。本学大学院においては、現役のみならず社会人が在職のまま修学できる途を開いており、専修学校専門課程の修了者も、入学資格審査により出願が可能です。



学生の必要に応じて、夜間や土曜日に講義を開講するほか、夏期・冬期の休業期間中に集中講義を行っております。また、大学院では平成25年度入学生から、長期履修制度が導入されます。長期履修制度とは、職業を有している場合や介護・育児等に就いている等の事情により標準就業年限（2年）を超えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修する制度です。長期履修制度の詳細は、本学事務局教務学生課（TEL:023-686-6688）までお問い合わせください。

キャンパスは山形市の北部（山形市上柳）に位置し、周囲には「健康の森公園」があり、静穏な環境で教育が行われております。本学理学療法学科では、理学療法士として必要な高い治療技術を身につけるべく技術教育と、理学療法を科学として確立させていく視点を養う教育に力を注いでおり、21世紀における科学としての理学療法の発展を担う人材の育成に取り組んでおります。理学療法の対象は、急性期医療から、在宅医療、健康増進やスポーツ領域に渡るさまざまな分野が含まれます。本学では1学部3学科の特徴を生かし、お互いの職種の役割を理解し、保健・医療・福祉の現場で連携、協調できる人材の育成に取り組んでおります。まだ本学では、コロラド大学理学療法学科との交流を中心として、国際交流にも力を入れております。「山形から世界へ」との思いを胸に、教員、学生ともども努力を重ねたいと思っております。



厚生労働省指定養成施設 学校法人 諏訪学園

山形医療技術専門学校

Yamagata College of Medical & Sciences

【学校紹介】

本校は理学療法学科、作業療法学科を有する4年制の専門学校です。平成7年に開校し現在までに500名を超える理学療法士を輩出しており、県内の病院、施設等に多くの卒業生が勤務し活躍しております。



学校見学

本校では連絡をいただければ、随時学校見学が可能です。

会場：山形医療技術専門学校

内容：学校の特色や入試についての説明、校内見学（実習室など）、質問コーナー

対象：受験生だけでなく 高校1・2年生、先生方、保護者の方も参加できます。

また、7・8月にはオープンキャンパスを実施しております。

募集

学 科： 医療専門課程 理学療法学科 40名

修業年限： 修業年限 4年間（昼間）

選抜方法： ・推薦選抜（公募・自己）

・社会人選抜（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）

・一般選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）

◎もっと詳しく知りたい方はお気軽に学校までご連絡下さい。

アクセス

■バス

- ・山形市役所、山交ビル、山形駅前より乗車「長井行き(R348山形一長井)」～医療技術専門学校前
- ・所要時間：山形市役所前より約20分

■タクシー

- ・JR山形駅東口前より 所要時間：約15分
- ・JR山形駅西口前より 所要時間：約10分



【連絡先】

学校法人諏訪学園 山形医療技術専門学校

〒990-2352 山形県山形市大字前明石字水367番地

TEL(023)645-1123 FAX(023)645-1250

ホームページ <http://www.ymisn.ac.jp/>

施設紹介

財団法人 三友堂病院

当院は主に急性期病院として周辺地域の急性期医療を担っております。病床数は190床あり、整形外科や脳外科から呼吸、心臓循環器内科など様々な患者様に対しての医療を提供しております。また周辺病院との連携を図り地域に根差した医療を目指しスタッフが一体となり日々の業務に取り組んでいます。

リハビリテーション室はPT7名、OT4名、ST1名の計12



名で連携を取り合いながら充実した環境の中でリハビリテーションを展開しております。リハビリスタッフ間の連携はもちろんですが、他部門との関わりも意識しながら包括的なリハビリテーションを提供できるよう日々努力しています。「信頼と融和で築こうよい病院」という当院の理念のもと、患者様が安心してリハビリに取り組めるように日々の業務に取り組んでいます。



山形済生病院

当院は、山形市の北部に位置し、病院東側に馬見ヶ崎川が流れ、西側には開発が盛んな嶋地区が広がっています。平成7年に山形市小白川町から移転した473床の一般病院です。病院全体としては、病院機能評価 Vor6.0、卒後臨床研修評価、人間ドッグ健診施設機能評価 Vor2.0の認定と常にステップアップを目指しています。

リハビリテーション部は、リハビリテーションセンターと介護・福祉用具展示センターの2つのセンターがあり、スタッフは理学療法士20名、作業療法士9名、言語聴覚士5名、福祉用具相談員1名、受付員1名の36名です。介護・福祉用具展示センターでは、介護福祉機器全般を展示、試乗試用を実施し、利用者個々に合わせた福祉用具の選択のアドバイスや制度説明を実施しています。リハビリテーションセンターでは、急性期～回復期リハビリテーションを実施するため、入院患者は365日診療体制を実施しています。大きく整形外科治療チーム、脳外科治療チーム、呼吸器内科治療チーム、外科治療チーム、心臓治療チームに分けながら、より専門的なリハビリテーション治療に心がけております。病院の在院日数は16日と短く、急性期治療を実施していますが、リハ対象患者さんは比較的当院から自宅に帰られる方もおり、他部門とのケースカンファレンスの実施や、必要時は退院前の自宅訪問等も実施しております。最近では部門内治療の充実のみでなく、NST、RST、緩和ケア、褥創回診等にも参加しチーム医療に力を入れております。

また、ここ数年若い方の採用が続き、卒後教育の重要性を認識しており、部門内生涯教育体制の構築を検討中です。経験を積んだスタッフと若くフレッシュなスタッフの融合で、済生病院らしい明るい部門を目指しています。



文責：岩田

施設紹介

東山整形外科クリニック

当院は新庄駅から徒歩10分、東山体育館のそばにある今年で10年目を迎えた整形外科クリニックです。診療科目は整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科です。

新庄市のみならず最上郡内、尾花沢など遠方から年齢問わず多くの患者様が利用されています。メインとなっているのが物理療法であり、理学療



法士1名、スポーツトレーナー2名で担当しています。その中で時間予約をとり個別リハビリとして理学療法分野で骨折後の機能回復訓練や変形性股関節症、膝関節症の保存療法の指導を行っています。外来のみなので、患者様の日常生活により近い視点から、問題点を見つけ出し解決することをモットーに地域に根ざしたクリニックを目指しています。

明るいスタッフがお待ちしております。

日本海総合病院 酒田医療センター

日本海総合病院酒田医療センターは旧市立酒田病院創立から65年を迎えました。その記念すべき年に回復期病棟の運用が始まり、今後は回復期リハビリテーション病棟の拡大とデイケアの開設を進めていく予定です。



リハビリテーション科スタッフは理学療法士(7名)、作業療法士(4名)、言語聴覚士(2名)です。写真の通り、ベテランも揃っておりますが、回復期リハやデイケアに関してはまだまだ新人です。いわばオールドルーキーです。新人らしく、毎週ケーススタディや抄読会などを行いレベルアップに励んでいます。今後とも皆様のご指導ご協力の程、よろしくお願いします。

明日への地域医療・高度医療に貢献する
一信頼される技術とサービスを人へ社会へ地域へ

ライフテクノロジーを追求する



株式会社シバインテック

本社 〒984-0015 仙台市若林区卸町二丁目11-3
TEL 022(236)2311 (代表) FAX 022(236)2362

・山形支店・荘内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ヘルスケアセンター・物流センター・メンテナンスセンター

ホームページ: www.shibaintech.co.jp

福祉用具の製作・販売・レンタル

風の郷工房(有)

座位保持装置・車椅子
電動車椅子・歩行器など

東置賜郡高島町一本柳 2535-1
TEL 0238-52-1446 FAX 0238-52-1411
URL: <http://www.kazenosato.co.jp/>



医療機器・福祉用具販売レンタル
TOTAL MEDICAL COMMUNICATION

株式会社 トーク

日医器通正事業所 第9406017号
福祉用具貸与事業所 0670700434

〒997-0806

山形県鶴岡市遠賀原字稲荷41-2

E-mail: took@coral.ocn.ne.jp

TEL (0235) 22-1009 FAX (0235) 25-8139

快適な介護をまごころでお手伝いします。



さわやかな在宅療養をサポートするサービスシステム。
お客様のニーズに合わせて「レンタル・販売」2つのシステムでお手伝いします。

レンタル商品

- 療養ベッド
- 車椅子・ポータブル浴槽
- エアマット、etc.

販売商品

- 紙おむつ・オムツカバー
- 尿器・ポータブルトイレ
- その他介護用品

※詳しい資料をご希望の方はお気軽にご相談・お問い合わせください。

株式会社 蔵王サプライズ

山形市香澄町1-20-8 ☎(023)622-7123

山形県より、福祉用具販売・取付の推薦を
いただき、官公需適格組合証明を取得

協同組合 生活住環境整備山形

〒990-0805 山形市檀野前13-2

TEL 023-681-5030 FAX 023-681-7609

医療の未来を見つめる総合商社



岡崎医療株式会社

- 本社 山形市あこや町三丁目4番3号
- 山形営業所 〒990-0025 ☎023(代)623-0546番
- 鶴岡営業所 鶴岡市大字安丹字村上4番10号
〒997-0057 ☎0235(代)22-0106番

表紙:

今年度から制定された、山形県理学療法士会のロゴマークです。ベースはさくらんぼ、中央の平行線は最上川の流れをイメージして、山形らしい雰囲気が感じられるように目指しました。全体的に丸い形にすることで人と人との輪や繋がりも表現しています。

編集後記

こんにちは、山形県理学療法士会です。この広報誌は一般の方向けに、少しでも我々の活動を知っていただくために年1回発行しております。県内の理学療法士がいる施設の紹介や養成校の案内、県内各地で開催される山形県理学療法士会主催のイベント等様々掲載しております。この広報誌を通じて我々の活動が少しでも身近に感じて何かの参考になれば幸いです。これからも地域のみなさまの生活に密着した活動を心がけて参りますので、今後とも宜しくお願い致します。

お問い合わせ

連絡先 〒992-0057

山形県米沢市成島町三丁目2番90号

三友堂リハビリセンター

リハビリテーション技術部

TEL(0238)21-8100 FAX(0238)21-8119

アドレス: rehabiri@rehab.sanyudo.or.jp

広報部 島貴 聡

安心と信頼

- ・前腕義手・股義足・下腿義足・骨格構造義肢・
(大型短断端を含む)
- ・腰・胸椎装具・靴型短下肢装具・歩行補助つえ・車イス・
(コルセット)

山形県指定一級義肢装具士

安達 武雄

安達ブレイス製作所

山形市江保3丁目15-1
☎(023)681-0456

医学書のことならお任せください



日本医書出版協会認定医学書専門店
医学書、看護学書、医書・一般

株式会社 高陽堂書店

山形市大街13-1-17 TEL 023(031)8881 FAX 023(031)1188
http://www.koyodo.co.jp/ email info@koyodo.co.jp

山形小木医科器械株式会社

山形市北町三丁目8番20号

電話 (023) 681-3633 (代)



義肢・装具・車いす
他整形医療器具製造・販売

(有)エムサポート

〒990-2212 山形市上柳110

TEL(023)687-2800 FAX(023)687-2812

取引銀行 山形銀行宮町支店(普通)0241881

福祉用具開発・レンタル販売 <http://www.tamatsu.jp>



株式会社 タマツ

本社 山形県鶴岡市美咲町32-7(〒997-0857)

TEL 0235-23-6333/FAX 0235-25-3889



オーダーメイドの福祉用具

株式会社 ライフケアサポート

山形県東根市温泉町1-13-10

TEL0237(43)6833 FAX0237(43)6832



◆山形県厚生省労働省指定◆

(有) 渡部 義肢

◆営業品目◆

義足・義手、コルセット、車椅子、ステッキ、下肢装具、上肢装具、骨格義足(モジュラー)

〒997-0861 山形県鶴岡市桜新町8番地52号
TEL(0235)25-9366 FAX(0235)25-9364

- 発行者/山形県理学療法士会
- 発行者/高橋 俊章
- 編集者/小松 裕和
- 広報部/三友堂リハビリセンター

〒992-0057山形県米沢市成島町3丁目2番90号 TEL(0238)21-8100
FAX(0238)21-8119

E-mail: rehabiri@rehab.sanyudo.or.jp